



おごおり

第379号

日本郵趣協会 小郡支部

第31巻 第10号 2021. 10. 1

日本航空福岡・那覇線開設

記念・公函切手25円貼

アメリカ占領下の沖縄との間に航空郵便が開設された、その第1便
ちなみに、沖縄の本土復帰は昭和47年5月であった。



時印 福岡・那覇間航空便開設記念 31、9、13

消印 HAKATA 13、9、56

中嶋克巳

戦後国内航空の再開は昭和26年10月25日、東京—大阪—福岡間および東京—札幌間である。実務は日本側に許されず、アメリカのノースウエスト航空社が委託を受け運航を担当し、外国人機長の操縦によりマーチン型機とダグラス DC4 型機で福岡~~は~~板付飛行場が使用された。福岡飛行場（雁ノ巣飛行場）は終戦と同時に連合軍の接收で機能が停止状態のため、アメリカ軍の板付飛行場の一部を間借り形式での使用であつた。現在は、アメリカとの平和条約により返還され民間の飛行場として活躍している。

昭和31年9月13日福岡—那覇間に航空郵便線が開設された。日本から沖縄あてには記念切手3枚を貼り1枚に福岡の記念印2枚は博多の欧文印が押印され、那覇からの郵便には復帰前の琉球切手が貼られている。

昭和32年4月25日大分—大阪間に航空郵便を開始。大分から大阪、大阪から大分への初日実通便。この航空郵便の存在は知っていたが、品物に縁がなくやっと数月前に入手できて、九州の航空郵便収集も完結した。

昭和32年7月1日、大阪・宮崎・鹿児島間に航空郵便が開設された。同日に開設された九州路線は次の通りで九州の東南地域も航空郵便を利用できるようになった。

大阪—宮崎 大阪—鹿児島 宮崎—鹿児島

大分—博多 博多—鹿児島

昭和33年6月3日、福岡—大阪間に夜間に航空郵便輸送を開始。その初日実通便、福岡—大阪へは博多の開設記念印に橢型印時刻は後6—12、到着印は、橢型印の大阪中央33・6・4前0-8で正確。大阪—博多へは大阪中央の開設記念印に橢型印。博多の到着印は6月3日前0-8であり日活字の誤植により珍現象のカバーを残している。

次号へと続く。

夜間

福岡大阪間航空郵便開始

博多・大阪間郵便専用夜間航空郵便開始
第一種料金10円+25円=35円



博多より大阪へ



大阪より博多へ

博多の着印は4日が正当、3は誤り

福岡の航空郵便

戦後の国内航空は昭和26年10月25日、東京—大阪—福岡間および、東京—札幌間を飛んだ。実務は日本側に許されず、アメリカのノースウエスト社が委託を受けて運行の実務を担当し、外国人機長の操縦によりマーチン型機とダグラスDC4型機が使用された。

国内航空郵便再開



Japanese Domestic Air Mail
First Flight



福岡局区内
橋口町 勝立寺立
坂本 肇様



国内航空郵便
再開記念

Japanese Domestic Air Mail
First Flight

東京都江戸川区

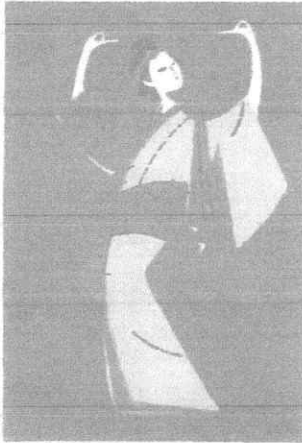
小岩町4-15
森平信次様



日本航空福岡・那覇線開設

沖縄から博多へ

日本航空福岡・那覇線開設
第一便記念



TO COMMEMORATE FIRST FLIGHT
FROM Naha TO FUKUOKA
BY JAPAN AIR LINES



JAPAN AIR LINES
DEP. 10:23 14
ARR. 13:35 14



Japan Air Lines Co., Ltd.
Poste Restante
Hakata Post Office
Japan



PAR AVION
via AIR MAIL
JAPAN AIR LINES

記念印 那覇中央1956、9、14 裏面に着印 HAKATA 14IX,56 (昭和31年)

大分・大阪間航空郵便開始

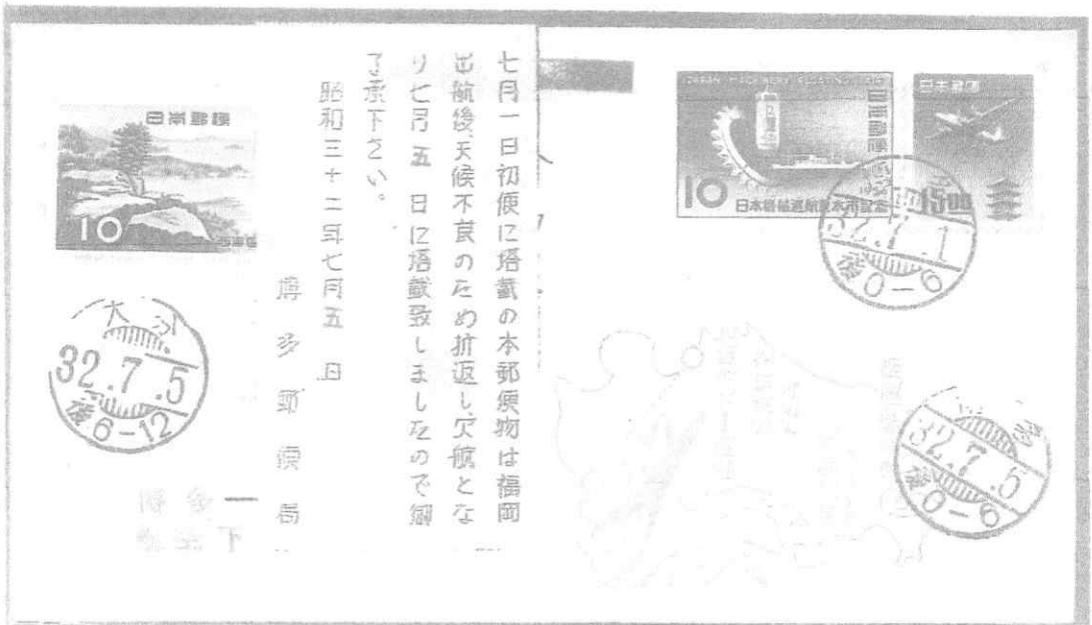
五重塔航空（円位）25+2次動植物国宝10円



福岡大分間航空郵便開始

初飛行は天候不良のため遅延

第 一 種料金10円+速送料25円=35円



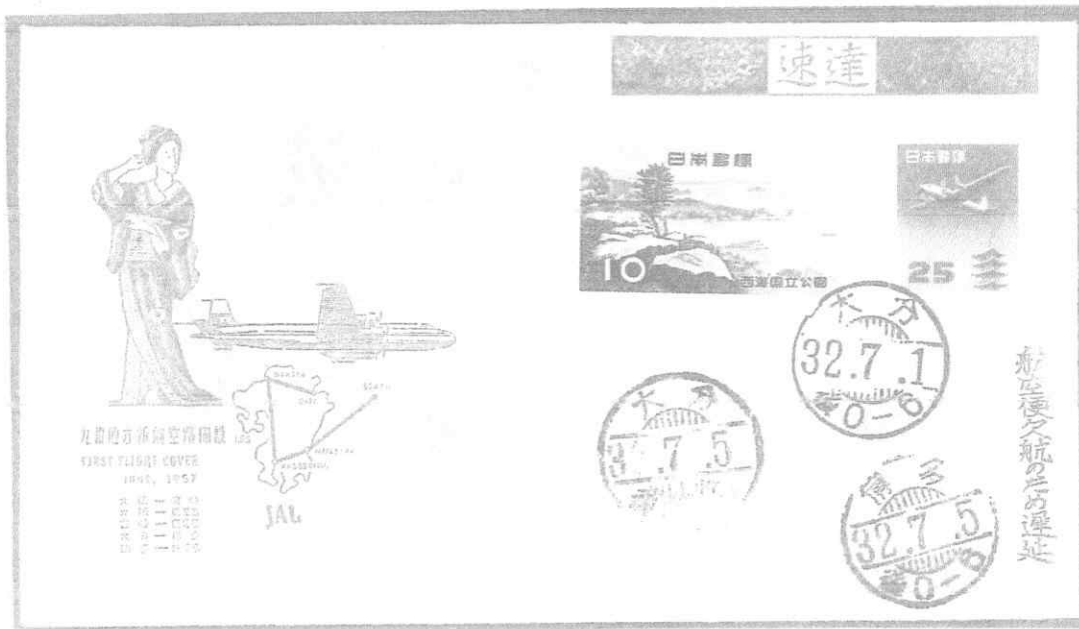
博多32、7、1 着印大分32、7、5



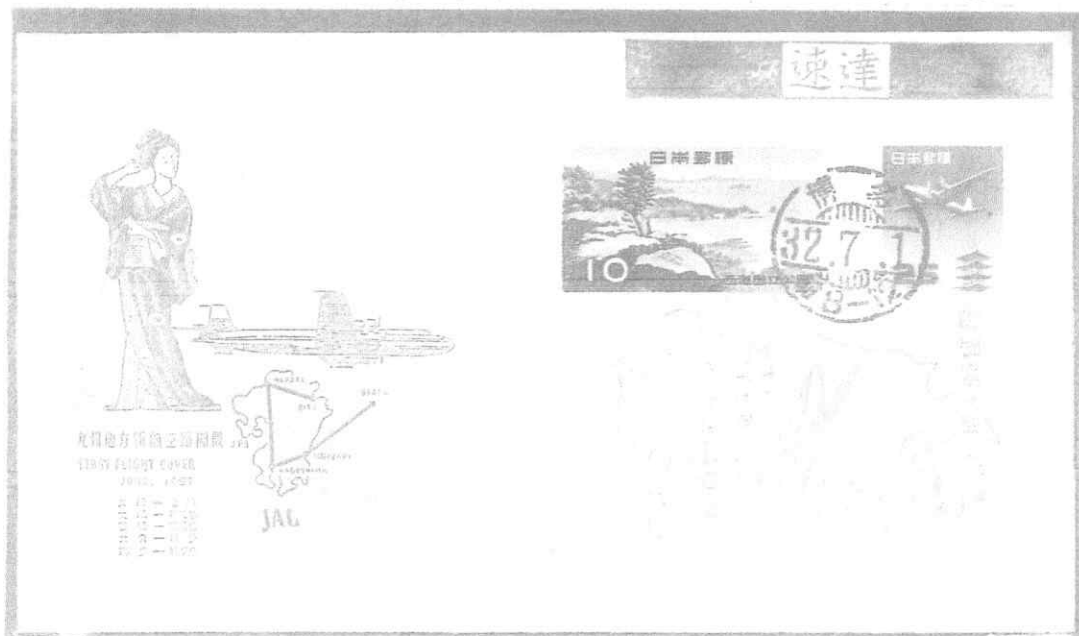
博多一大分間航空郵便開始 大分32、7、1 着印博多32、7、5

大分・福岡・鹿児島間開設

五重塔航空 (円位) 25 + 西海国立公園 10



大分 32, 7, 1 消し 博多 32, 7, 5 着印 航空便欠航のため遅延のゴム印



博多 32, 7, 1 消し 裏面に鹿児島 32, 7, 1 着印